



# 白山市立明光小学校

白山市立明光小学校は、白山市の鶴来地域白山ろくの平野部に位置し、周辺には田んぼが広がり、集落が点在する地域の小学校である。旧学校用地（旧校舎+旧グラウンド）の北側にグラウンドを拡張し、旧学校用地を新校舎の建設敷地とする計画であった。また、本計画地は旧鶴来町（白山市に合併前の旧町名）にあり、旧鶴来町は鶴来街道沿いの古い街並みが残る、歴史を感じることができる地域である。今回の計画では、ゆとりのある敷地に校舎を段階的に建て替え、地域の歴史や伝統を取り入れ、周辺環境にも調和した新校舎を目指した。

新校舎は十分な広さを持った敷地に建てることができたため、敷地に対して伸びやかに建つ2階建ての低層校舎として計画した。建物ボリュームを抑えることで、周囲の住宅地への圧迫感軽減を図っている。敷地の東側と西側の住宅地に隣接する教室棟は瓦屋根を載せた切妻屋根とし、また、バルコニーの庇で建物ボリュームの分節を行うことで、周辺環境への調和を図っている。屋内運動場棟についても、仕上げの切り替えや大庇を設けることでボリュームの分節を行い、圧迫感軽減を図っている。

学校の正面とグラウンドを結び、鶴来の街道を連想させるように通りに沿って様々な空間が次々と展開する幅広の廊下「明光ストリート」を中心として構成し

ている。「明光ストリート」には、図書館やラウンジ、階段下のDENなどの空間を配置し、様々な空間で行われるシーンを体験できる。普通教室棟は明光ストリートから枝状に伸びる明快な構成としており、各学年のトイレは明光ストリートに面して配置されている。トイレの入り口には大きな掲示板やベンチを設け、楽しく入りやすいトイレ計画としている。明光ストリートに面する中庭部分にはカーテンウォールを設け、また、2階部分にはハイサイドライトを設けるなどして、明るい空間となるようしている。

低学年は緑豊かな中庭に隣接した1階で、すぐに外に飛び出せる活動的な空間としている。また、低学年にはDEN（小さな隠れ家空間）を設け、子どもたちが楽しく遊ぶことができるよう計画している。それに対し、高学年は中庭に面する2階で、地産材の杉の垂木天井に包まれた落ち着きのある空間としているこのように、子供たちの成長に合わせて、学習や遊びの空間をつくり、様々な出会いが生まれるように願いを込めて計画した。

教室棟を、緑のある中庭を挟んで配置することで、南面採光や通風を確保した快適な学習環境となるよう計画した。敷地西側の地域の記憶に残る桜並木を残すだけではなく、歴史のある既存樹木を残すことで、いろいろな人の記憶を受け継ぐ校舎となるよう計画した。また、明光小学校は県主催の「花いっぱいコンクール」を幾度か受賞するような学校であったが、本計画においては花壇スペースを学校正面に設け、より積極的な活動ができるようにした。



■明光ストリート



学校正門から昇降口を見る。



明光ストリート 右奥に図書館が見える。



明るくぎやかなトイレが面する。



大階段 明光ストリートが奥に見える。



開放玄関側からグラウンドに伸びる明光ストリートを見る。



2階平面図 S:1/800



1階平面図 S:1/800



開放玄関側からグラウンドに伸びる明光ストリートを見る。



明光ストリート 右奥に図書館が見える。



明るくぎやかなトイレが面する。



大階段 明光ストリートが奥に見える。



開放玄関側からグラウンドに伸びる明光ストリートを見る。



明光ストリート 右奥に図書館が見える。



明るくぎやかなトイレが面する。



大階段 明光ストリートが奥に見える。

